



ユニオンニュース・掲示回覧用

私たちの地域合同〔第29回〕

（佐野安下請け労働者支部の巻 その6）

さて、本工組合暴力ガードマンとのまさに死闘にも参加していた下請け分会の仲間は、日々、経営者からの支配介入とも闘っていました。「お前まで組合はいりくさって、腕章はずさんか」「組合なんか連れてきやがって会社つぶす気か」「よう覚悟しとけ、いてもうたる」という暴言は日常茶飯事で、連日のように分会員は解雇され、実際リンチを受けたりしました。組合はそれについて労災を認めさせたりもしました。

下請け企業で作られた「佐野安の職場を守る会」は分会脱退歓迎の看板をかかげ、一方で女字で「ラブレター」と呼ばれる手紙を組合員宅へ送りつけました。曰く「脱退するよう勧めてください。失業苦難の奈落の道に落ちるか、奥さん、大事な時です」と。結果下請け分会の組合員数は最大130人を超えた数だったのが、最終的には委員長ひとりとなりました。役員は短期間にほぼすべて解雇になっています。

連日会社の正門前で、暴力ガードマンと殴り合いをしながらビラを撒く行動に地域合同の組合員も支援に駆けつけています。

値上げラッシュの4月。 生活を守るのは労働組合の役目。 賃上げ一時金の闘いに全力を！

表 最近の主な値上げ
(各紙報道より作成。メーカー名は代表的企業で他のメーカーもほぼ追随)

	品目	メーカー	時期	上げ幅
石油	ガソリン	レギュラー、121円/ℓ(20年5月)→167円/ℓ(22年2月)		
	灯油	18ℓ=1295円(20年5月)→1908円(22年2月)		
食品	食パン	山崎製パン	22年1月～	平均9%
	しょうゆ	キッコーマン	22年2月～	4～10%
	冷凍食品	テーブルマーク	22年3月～	5～10%
	ハムソーセージ	日本ハム	22年2月～	4～12%
	チーズ	雪印メグミルク	22年4月～	3.4～20%
	パスタ、乾麺	日清製粉	22年2月～	3～9%
	マヨネーズ	キューピー	22年3月～	2～10%
	菜種油	J-オイルミルズ	22年2月～	1キロ40円以上
	即席めん	日清食品	22年6月～	5～12%
	焼酎	宝酒造	22年6月～	1～8%
外食	牛丼(並盛)	すき家	21年12月～	約14%
	釜玉うどん	丸亀製麺	22年1月～	約8%
生活用品	家電製品	パナソニック	22年4月～	順次値上げ
	トイレットペーパー	大王製紙	22年3月～	15%以上
	ティッシュペーパー	大王製紙	22年3月～	15%以上
	文具	コクヨ	22年1月～	約8%
	タイヤ(乗用車用)	ブリヂストン	22年4月～	7%
公共料金	首都高速道路		22年4月～	上限料金630円増
	電気料金	大手10社	22年3月～	月額835～1836円
	ガス料金	大手4社	22年3月～	月額931～1251円
	電車運賃	東急電鉄	23年3月～	初乗り10円増

左の表は3月のデータです。そしてこれらは一部でしかありません。クリーニング代や鮮魚、肉類も値上げが始まっています。

総務省の2月の発表は0.9%。しかし、日銀アンケートではすでに6%を超えています。これはウクライナ情勢とはあまり関係ありません。ご存じのようにガソリン代は、数か月も前から異常な上がりかたです。

これには円安の影響が大きいと言われていますが、長期的な脱炭素時代に向けた動きが原因です。

確実に2%を超えるインフレとなっていて、4月以降ウクライナ戦争の影響を受けて、一気に5%を超える数字が予想されています。

さて、下のグラフを見てわかるように、年収300万から400万の人の負担増は1.4%（47,538円）と見込まれています。つまりは1.4%以上の賃上げがないと、可処分所得は減るということになります。

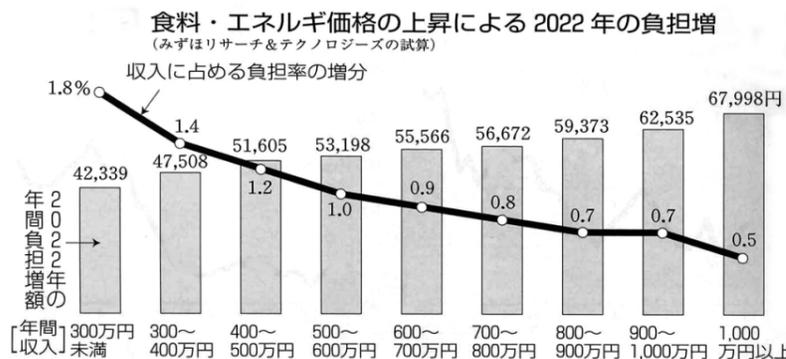
そしておそらくこれを超える値上げがおこるでしょう。最低2%を超える賃上げが必要です。

さらに今後起こるのが、食料品や外食費の上昇です。ロシアに対する経済制裁で、海鮮物や穀物の多くが品薄状態になります。

カニだけではなく、サーモンなどの魚類も、一番の輸入先がロシアというものがかなり多くあります。

アメリカやカナダからも入ってはきていますが、それが増える要素はあまりありません。鮭弁当が高級弁当になってしまうかもしれません。

ひろばユニオンから抜粋



大阪地方メーデー

5月1日(日)午前10時～11時15分

大阪城公園 太陽の広場

9時30分に公園東側の「大阪城ホール前噴水」のところで集合

※ 詳細は後日お知らせします。